

発言の種類	一般質問・緊急質問・質疑・討論
答弁を求める者	市長 教育長
発言の要旨 (討論の場合は反対・賛成の別)	
活力ある元気な町づくり について	
①人口対策	
②交流人口	
③賑わいの創出	
④市民の協力強化	
⑤人材育成	

100

100

100

今回は、現在の竹原市民の多くが待望している『活力ある元気なまち』をテーマに、政策実現に向けた質問をさせていただきます。それこそが「住みよさ実感」に繋がると考えるからです。

まちづくりに欠かせないものとしては、次の5項目が基本になると思います。

① 人口対策

人口減対策としては、竹原市が造るミニ工業団地と三原市や東広島市と連携しての防衛産業やIT産業などの企業誘致、そして、新しい形態の民間型刑務所や自衛隊などの施設誘致、また、元気な市町と広域連携の強化はもとより、合併なども視野に入れておく時期が来ている。

② 交流人口

交流人口を増加させるためには、広島県の宿泊税を活用しての町並保存地区の充実（美術館や今井政之記念館などの建設）や、呉市と連携しての瀬戸内クルーズ事業、更には宮島でも導入して成功している訪問税による大久野島の活性化など、特に国が力を入れている場所への観光振興に磨きをかける。

③ 賑わいの創出

まちの賑わいを取り戻すためには、商店街の活性化に向けた政策（商品券、ペイペイ、イベント補助金の新設）や中心市街地活性化など国の補助金による魅力あふれる民間商業施設の呼び込みを駅前エリアまで拡張して行う。

④ 市民の協力強化

気軽な相談拠点としての地域交流センターを核として、顔が見える信頼関係を構築することにより、市民目線で市民同士が、そして、官民が一体となって行うまちづくり、更にデマンドタクシーや福祉バスなど交通の利便性を含めた住みよさが実感できるまちづくりを皆で考える。

⑤ 人材育成

地方創生のための企画や政策立案を担う職員の人材育成には、未来につなぐ「DX」の挑戦を遂行しつつ、優秀でやる気のある人材を確保するためのテレワークやフレックスタイム制の導入。未来の人材育成には、他にはない文化都市・学園都市を目指す。

以上、5項目の人口減対策やまちづくりに対して、平井市長はどのように考えておられるのか伺います。